



どねり自然図鑑

世界中にいる動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ～」という情報もお楽しみに。

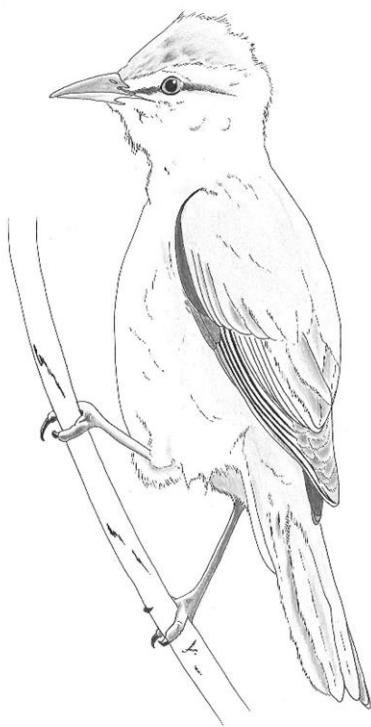
【撮影した方のつぶやき】クチバシを大きく開き、小さな体でめいっぱいさえずっているのが伝わる写真が撮れました。勇ましい姿でもありますが、少し寂しそうな感じもしました。（舎人公園にて撮影）。

「カッコウから我が子を守れ！」

○オオヨシキリ（大葦切）は漢字の通り、葦の茎を切り裂きエサの昆虫を捕えることが名前の由来といわれています。この葦の茎をたばねるようにして巣も作り、子育てを行います。しかし、このオオヨシキリの巣を狙う鳥がいます。それは、カッコウやホトトギスなどです。狙うといっても巣を壊すなどの攻撃を行うわけではありません。【托卵】といって自分が産んだ卵を他の種の鳥に育てさせます。例えば、カッコウがオオヨシキリの巣から卵をひとつ盗み出し、代わりに自分の卵を巣に置きます。その後、

オオヨシキリが卵を温め、卵からかえったカッコウのヒナは他のオオヨシキリの卵やヒナを巣の外に捨ててしまいい、食べ物を独占して育てていきます。しかし、オオヨシキリも【托卵】をされているばかりではありません。オオヨシキリはこっそり巣に置いたカッコウの卵をみやぶり巣の外に捨てます。カッコウがこのような繁殖方法をとる理由はまだよくわかっていませんが、オオヨシキリは自分の子を守るため、常に油断できないということです。

名称：オオヨシキリ（大葦切）
学名：*Acrocephalus arundinaceus*
体長：約18cm
分布：九州以北
場所：草原など
主食：昆虫、クモなど



舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓

上田恵介 柚木修 『小学館の図鑑NEO 鳥』 小学館

平野伸明 『野鳥記』 福音館書店

川上和人 『鳥（ポプラディア大図鑑WONDA）』 ポプラ社

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！